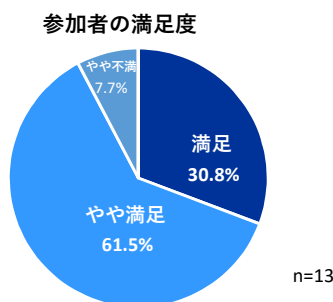
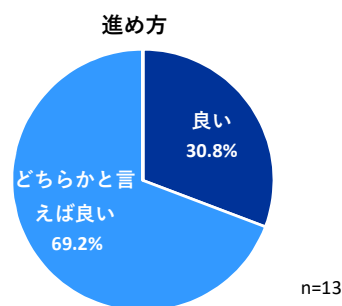


## 第1回参加者アンケート結果

通番	質問1:満足度		
①	1	満足	職員の方々が手際よく進行してくださったおかげで、活発な議論がなされていたと思います。ありがとうございました。
②	1	満足	様々な年齢層の市民が集まったことが非常にうれしかった。しかし、図書館を意識的に利用している、または図書館に興味がある人間が多かったため、図書館を普段利用しない層の意見が反映されにくいのではと感じた。
③	1	満足	-
④	1	満足	良かった点:主催者側の立ち位置 が理解できたこと。⇒出席者の方々の凡その立ち位置が理解できたこと。 悪かった点:あえて言うなら、市の状況・方針が明確に提示されている中、この前提を覆す発言が散見されたが、建設的な意見の場を期待します。
⑤	2	やや満足	発言が遮られず、整理されるのはオンラインミーティングの良さだと思いました。ただ、やはり自分含め、発言者が偏るのはよくないように思われます。人数が多いため、仕方のない部分かもしれませんが、ミーティング後に発言できなかった方の意見も見られる仕組みがあるとよいと思います。
⑥	2	やや満足	良かった点: ①一回目にもかかわらず、多様な意見や価値観を聞くことが出来た。 ②資料もグラフ化されており見やすかった。ただ参考値として、全国平均や同規模の市の数値が併記されていると、さらに良かったと思います。
⑦	2	やや満足	いろんな立場や年齢の人がいて良かった。でもそのため、豊中の図書館の現状や課題の理解度もまちまちで、それらの説明に多くの時間を割かないといけないのが大変だと思った(必要なことなのでしかたがないが)。また、参加者が13名と多いのであまり発言しなかった(できなかった)人がいたのが残念。
⑧	2	やや満足	ミーティングに慣れていないので、何とも言えません。 かなり遠大なテーマの導入としては、参加者が知り合うというのでは有効だったと思います。 表現力と整理する能力のない私などは、ちょっと、スピードが速いです。
⑨	2	やや満足	まずは、ミーティングに参加させていただき、ありがとうございました。図書館に関わる方々、関心のある方々と豊中の図書館について対話し合えるのは貴重な経験です。参加者同士で対話し新たなご意見にふれ、自分自身の考えをまとめていく非常によい機会です。オンラインミーティングの特徴でもあります。参加者同士が親しくなりにくいのがやや残念です。次回を楽しみにしています。
⑩	2	やや満足	多様な参加者の皆様のご意見に触れられ大いに刺激を受けました。中央図書館建設によって他の図書館の統廃合を含めたコストダウンをはかる前提があるということをはりかいてきましたが、そこから次善の案を皆で考えるのか、たたき台があってそれを検討するのか、具体的な方法を議論するのか、考え方を議論するのかが私には理解しにくかったです。
⑪	2	やや満足	-
⑫	2	やや満足	Apple製品使用のため、docxファイルはレイアウトが崩れてしまうので、資料はpdfファイルも送付いただきたい。(お手数おかけします)
⑬	3	やや不満	常にカメラ音がしんどい。
集計結果	1	満足	4
	2	やや満足	8
	3	やや不満	1
	4	不満	0
	-	無回答	0
		合計	13



通番		質問2:進め方	
①	1	良い	現在のやり方でなら問題はないと思います。
②	1	良い	中央図書館を新設するのか、既存の図書館を改修して中央図書館とするのが良く分からなかった。明言されていたら申し訳ございません。
③	1	良い	-
④	2	どちらかと言えば良い	良いと思います。1分オーバーを警告されました。場の雰囲気分からないので、やや饒舌になったかも。以後注意します。回線状況が非常に悪く、聞き取れない場合があった。進行側でそのような場合はカットするなり、改善してほしい。
⑤	2	どちらかと言えば良い	今後、司会の方が制御しつつ、参加者同士で意見を交わせるとより良くなると思います。
⑥	2	どちらかと言えば良い	①様々な年齢層・健康事情・介護や育児等の家庭内事情がおりだと思うので、中休憩5～10分だけでもとって、終了時間をその分延長するのもありかと思いました。多数決でも良いのではないですか。 ②せっかく様々な年齢層の方が参加されているので、「発言のない方たちを指名して発言を促すファシリテーション」もありかと感じました。
⑦	2	どちらかと言えば良い	とても難しいと思う。今回は自己紹介だったので、最初は順番でゆっくり進んで行ったが、最後の方で時間が迫ってきた中での、意見交流になってくると、早い者勝ちみたいになってきて、あまり発言していない人の手が挙がっているのに、何回か発言した人に当ててしまう？みたいな場面があった。(私を含めて)一人1分と言ってもオーバーしてしまったり。容赦なく切っていくとダメかなと。
⑧	2	どちらかと言えば良い	とても丁寧な説明があり、段階を踏んでのプログラム進行は、スムーズで良いのだろうとは思いました。
⑨	1	良い	同じような経験や技術を持つ職場等でのミーティングとは異なり、一般の人をお招きするオンラインミーティングは進め方が難しいと感じていますが、事前準備も当日も非常に丁寧な進め方で、初めてzoomを経験する人にもわかりやすかったと思います。参加者のWi-fi環境が課題ですが、これは仕方ないですね。事前に頂いたアンケート調査報告等は、A4版PDFに変換して頂けると助かります。
⑩	2	どちらかと言えば良い	上にも書きましたが、考え方を議論するフェーズと具体的な手法や案を議論するフェーズを分けて進めるなどその都度、話の内容を少し限定する形のほうが良かったようにも思いました。司書は誰でもいいのか、という話も話が出るにまかせるような感じに受け取れました。もう少し論点を深めるような議論の誘導があってもよかったと思います。
⑪	2	どちらかと言えば良い	-
⑫	2	どちらかと言えば良い	議題と参加者の発言内容がかみ合っていない部分があると感じた。具体には、各回のテーマ案についての議論は、本来は「どのようなテーマを今後話すべきか」という点について、追加や深掘りをする時間と認識していたが、各テーマにおける持論を述べられる方がおられた。進行役の方が軌道修正を促すなど、ハンドリングを強化いただけるとより良い議論になると感じる。
⑬	2	どちらかと言えば良い	1人当たりの時間を決められていたことが良かった。
集計結果	1	良い	4
	2	どちらかと言えば良い	9
	3	どちらかと言えば悪い	0
	4	悪い	0
	-	無回答	0
		合計	13



通番	質問3:意見等
①	限られた予算・資源のなかでいかにより良い図書館を作り上げていくかが、今回のミーティングの主たるテーマだと思うので「予算を減らすな」という議論は本筋からそれているように感じます。ですが、図書館は「市民の知る権利に資する」といった抽象的な役割だけでなく、地域の魅力となり地域の発展に貢献するといった具体的な「利益」をもたらす側面もあるので、投資的な意味でも図書館に予算をかけることに全く意味がないとは思いません。
②	-
③	<p>I 何が真実の情報なのか見極めるために図書館に出来ることは何か。私たちは洪水のような情報の中で生活しており、どれが真実の情報なのか見極めることに苦労しています。知の拠点としての図書館に出来ることは何か。</p> <p>図書館が直接どの情報が真実の情報であるのかを指し示すことは困難でしょう。しかし、多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集し、市民に提供し、市民がどれが真実の情報なのかを見極める能力を涵養することに寄与することは可能だと思います。</p> <p>(事例) イエズス会の布教の実像について次の2冊を市民に示すことが出来る。  「遠藤周作・沈黙」- イエズス会の宣教師は殉教者、棄教者の共に高貴な魂の主として描かれている。「キリシタン時代の研究 高瀬 弘一郎」- イエズス会の日本軍事征服計画の存在を実証し、スペイン国家には日本を植民地化する目的があり、日本への宣教は征服手段の一環であったことを明らかにしている。(参照: 図書館の自由に関する宣言): 図書館は多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。</p> <p>II 図書館事業費の変遷を示してください。(合計、内訳)(2010年(H22)~2020年(R2)(予算))  図書館を取り巻く課題について、市民と行政が共通認識を持ち、今後の図書館のあり方について話し合うため、先ず図書館事業費(合計、内訳)(2010年(H22)~2020年(R2)(予算))の変遷を皆さんに示してください。  (仮称)中央図書館基本構想策定・オンラインミーティング開催の趣旨  【3.オンラインミーティング開催の趣旨】  ① 図書館を取り巻く課題について、市民と行政が共通認識を持ち、今後の図書館のあり方について話し合う課題: 事業コストの見直し</p>
④	<p>他テーマ</p> <p>①電子図書館をどのように具体化するか。TRCに丸投げは避けたい。  ②図書館行事のオンライン共有化。  ③書庫書籍は貸出機対応。一部窓口係が図書館ルールを逸脱した対応をする。</p>
⑤	<p>・利便性と資料保存については、ぜひトピックに組み込んでほしいです(第3回で吸収できるかもしれません)。郷土資料や自費出版物など、公共図書館が手放してしまえば無くなる資料が多いことを司書はわかっていますが、どういうコレクションを未来にのこしていくべきか、また、責任をもって判断する人間が図書館に必要かどうか協議をした方がいいと思います。2017年に京都市図書館で起こったようなことは起こってはいけないことだと思います。(https://r.nikkei.com/article/DGXLASDG27HEB_Y7A420C1CC0000)  ・今の状況から考えても、電子資料を含め、遠隔サービスについても協議ができるとよいと思います。お金をかけずに、専門性がカバーができる遠隔サービスは参加者の中からアイデアを募ることもできるよい機会だと思います。</p>
⑥	トピックとしては、不読率改善の対策・学校図書館との連携についても話せたら良いと考えていましたが、全て2~4回の内容に含められる内容でしたので、発言しませんでした。
⑦	登録率37%は、どういう数字なのかという問いに「低いとは言えない」と訳のわからない回答。以前40%以上になるとかいう目標を掲げていた時に、全国の図書館を調べたが、37%は高い方。でも、登録率はあまり意味がない、そのためにアンケートの結果を出していたのでは？あと、高梁市のCCCの図書館を見てきた…という話が出ていたが、それについても言いたいことが(ここにも書ききれない)
⑧	コストカット2500円と2000円が、既定の事実なのでしょうが、その算出の根拠を知りたいと、思いました。
⑨	私はこのミーティングを、豊中の図書館についての夢や理想を、市民の立場としてある程度自由に話し対話する場だと認識しています。現実には市の経済的な方針等があり、その上コロナ禍であるという現状があるため、様々な問題、課題が山積であることは承知していますが、だからと言って、発言する際に思考停止的にならないよう考え、発言していきたいと改めて感じました。
⑩	-
⑪	-

通番	質問3:意見等
⑫	<p>議論の進め方についての提案  参加者の図書館への関わり方が多様であることから、前提となる理解度もバラつきがあるのではないかと推測している。そのため、議論に入る前に参加者の理解度を一定程度揃えておく必要性を感じた。各回のテーマに応じた図書館運営の現状について冒頭に事務局から説明いただけると、議論の土台が固まり、論点が先鋭化できると思うので、検討願いたい。  (次回のテーマを例にすると、事務局から特色ある事例の紹介がされる予定とあるが、現状の豊中市の運用と比較することで「特色」がより明確化するはずなので、豊中についての現況説明もぜひ盛り込んでいただきたい。)</p>
⑬	-

通番	質問4:感想等
①	今回のミーティングは、中央図書館へ機能を集中させることを大前提としてされていましたが、そもそも参加者の皆さんの関心の的は機能集中の是非にあったと思います。もちろん、今更その大前提から路線変更するのは非現実的かもしれませんが、やはりそのような重要かつ賛否両論がありえることが予め決められてしまっている現状には違和感を覚えます。今後はそれも踏まえた議論が必要ではないでしょうか。
②	様々な年齢層の市民が集まったことが非常にうれしかった。物怖じせず、積極的に発言していきたい。自治体間での図書館事業の連携についてはかなり手広く展開されていることが分かったが、返却が他の図書館でできない点・別のカードが必要な点など課題があるのではとも感じた。他の地域での取り組みなども調べてみようと思う。
③	先端的な手法による会合の場に参加出来てHAPPYでした。
④	以下の記事で関心を持ちました。 <a href="https://www.kentsu.co.jp/webnews/view.asp?cd=200521700002&amp;area=5&amp;yyyy=0&amp;pub=1">https://www.kentsu.co.jp/webnews/view.asp?cd=200521700002&amp;area=5&amp;yyyy=0&amp;pub=1</a> 事務局の方針が分かったので、今後はそれに対応したいと思います。 ボランティア等活動されている方々は、予算増を求めているようですが、予算削減の下、中央図書館と地域拠点図書館&その分館とのオンライン等連携方法が課題と理解しました。
⑤	一部、不具合があり申し訳ありませんでした。 図書館の運営について、年齢層に幅がある中、それぞれにこれだけ活発に意見が出るのはとても良いミーティングだったと思いました。第二回目からは、1つのトピックに対して参加者の方が一人一回は意見を出せる機会がある仕組みづくりに期待します。
⑥	①まだまだ相互に出方をうかがっている所があると思うので、初回としては十分な内容と進行であったと思います。②難解な専門用語を出す際は、話者が画用紙等を書いて、画面越しに見せる工夫もありかと思いました。③「バカ」などの言葉、「岡町図書館の～」などの特定した上での非難は好ましくないと思いました。内容はどのような方向性でも良いですが、「言葉選び」は大切ではないでしょうか。
⑦	今回は自己紹介と今後に向けての相互理解なので、こんなものかな、と思います。ただ、これから毎回テーマを決めてのミーティングとなると、13人という人数で実際意見交換ができるのか？疑問と不安が残った。オンラインでのミーティングは初めてなので、ラウンドテーブルの時のワークショップのように、行かないな、と感じた。図書館総研のお二人の立場が良くわからなかった。
⑧	今、中央図書館構想は、コストカットという大きな強迫とセットになっていると感じています。図書館の担う使命と責任を全てできる状況ではない今の時点から、更に、何かを削除しなければならないところで、ごわずかでも巻き返しが図れる案が、万が一でもできてきたら、よいのにと思うことにします。
⑨	先にも述べましたが、オンラインミーティングでは参加者同士が親しくなりにくい環境にあります。ですので、ご参加者の簡単なプロフィール一覧があるとよいなと感じました。個人情報保護としては出せないのでしょうか？その方がどういう背景や意図でその発言をされているか、ミーティング内でわかりにくい部分がありましたので、なにか工夫があるとよいと思いました。
⑩	まだ、このミーティング全体の位置づけがよく理解できていないのですが、この後、具体的な中央図書館および豊中市の図書館システム全体のコンセプト設計みたいな段階に入るといえるのでしょうか。コストダウンについて市民の意見を聞きましたよ、という行政ステップでなければいいなと思いました。
⑪	オンラインミーティングに慣れていないので、発言のタイミング等に少しとまどいました。(全体の雰囲気がかみにくい。)自宅のWi-Fiの状況があまり良くなって、回線が途切れたりしてご迷惑をかけてしまいました。すみませんでした。
⑫	様々なバックグラウンドから図書館と関わっている方々と未来を見据えた議論ができる機会を貴重に感じている。このミーティングへの参加を通じ、ただサービスを受けるだけでなく、自分たちが図書館を作っていくのだという意識を深め、それを行動に変えていけるよう取り組んで参りたい。
⑬	図書館にあえてお金をかけるという意見に私も賛成です。